

今月の数字
9,359

【答えは裏面】

CONTENTS

カレンダー	1	今月の雑誌の動き	3
今月のお知らせ	2	貴重書紹介	
データベースのお知らせ	2	『伊太利亜新進の女流作家』	4
図書館を活用しよう! — 就活編	3	よくある質問	4

図書館開館時間

		月～金曜日	土曜日	日曜日・祝日
図書館	学期期間中(無印)	8:45～22:00	8:45～21:00	休館
	休業期間中(○印)	8:45～20:00	8:45～18:00	休館

※旧館は上記の10分前に閉館します。なお、書庫の利用は閉館時刻の30分前までとなります。
南館は上記の40分前に閉室と同時に書庫を閉めます。

10

2010
October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
9/26	27	28	29	30	1 夏季長期貸出返却期限日(1回目)	2
3 休館	4	5 夏季長期貸出返却期限日(2回目)	6	7	8	9
10 休館	11 体育の日 休館	12	13	14	15	16
17 休館	18	19	20	21	22	23
24 休館	25	26	27	28	29	30
31 休館	★【お知らせ】 秋学期の平日(月～金)、新館を8時30分から開館します。(試行) 授業開始30分前から入館できます。ご利用ください。 ※開館時間は悪天候ならびにキャンパス行事等により変更される場合がありますので、来館前にHP等でご確認ください。					

慶應義塾図書館貴重書展示会(第23回)

『経済学の源流 — 欧米諸都市が育んだ100の古典 —』

慶應義塾図書館には非常に豊富な経済古書コレクションがあります。開館当初購入したスミス『国富論』各版105冊に端を発し、永い年月をかけて蒐集してきたものです。今回の展示では、400年を超える経済学の歴史を選びすぐりの100冊で迎えます。

経済学揺籃期の最初を飾る W. S. ジェントルマンの世界的な稀観書や、ルイ15世の愛人ボンパドゥール夫人の侍医ケネーが60歳近くになって執筆し経済学の歴史に不滅の足跡を残した『経済表』など、様々な逸話も含め、経済学の壮大な流れを堪能してください。経済学者の肖像を地図上に示したパネルで、各時代と都市で育まれた歴史もご覧いただけます。

主 催: 慶應義塾図書館 協賛: 丸善株式会社

会 期: 2010年10月8日(金)～14日(木) 午前9時～午後9時 最終日は5時閉場

会 場: 丸善・丸の内本店4階ギャラリー(丸の内オアゾ内) [入場無料]

講演会: 丸善・丸の内本店4階ギャラリー(特設会場) [入場無料] 各回 先着50名

10月10日(日) 15:00-16:00 「イギリス経済学の特徴と伝統」

10月11日(祝) 13:30-14:30 「スミス『国富論』のヨーロッパ大陸への波及」

15:00-16:00 「近代経済学の源流」

経済学部教授 坂本達哉

経済学部教授 池田幸弘

経済学部教授 丸山 徹



今月のお知らせ

夏季長期貸出の返却期限日

三田の長期貸出図書の返却期限日は、7月26日までの貸出分は**10月1日(金)**、7月27日以降の貸出分は**10月5日(火)**となっています。期限を超過すると1冊につき1日10円の延滞料金が課せられますので、遅れないようにしてください。

図書館を使いこなそう！ ライブラリーオリエンテーション好評実施中

資料の探し方やデータベースの使い方を紹介するライブラリーオリエンテーションを、下記の2つのメニューで実施しています。グループ単位の事前予約制となりますので、ゼミやクラスでお誘い合わせの上、利用してください。三田祭や卒論の準備にご活用ください。

①文献探索ツアー

希望テーマにそったデータベースや資料の紹介と図書館内ツアーで、文献の探し方と図書館のサービスについて案内します。3名以上で申し込んでください。申込期限：1週間前

②データベース体験講座

パソコンを1人1台使う特定データベースの検索実習です。7名以上で申し込んでください。申込期限：2週間前

実施期間：学期期間中の平日の9:00~18:00

所要時間：60分または90分

申込方法：図書館1階レファレンスカウンターで申込書を提出してください。

申込書(PDF)はホームページからもダウンロードできます。➡ <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/services/ref/orientation>

小展示のご案内 1階展示ケースにて行います。

●テーマ：時を刻むいにしへの都 ―平城京遷都1300年記念展―

会 期：9月27日(月)～10月9日(土)

●テーマ：「三田文学」100年の歩み(仮)

会 期：10月18日(月)～30日(土)

図書館(新館)を8時30分から開館します(試行)

9月27日より、秋学期授業期間中の平日(月～金)、新館を8時30分から開館します。

9時の授業開始前に図書館を利用したいという要望に応じて、このたび、開館時刻を15分早めた8時30からの開館を試行することになりました。試行期間の状況を見て、次年度以降の実施や運用を検討します。

なお、この8時30からの開館は、新館のみで試行します。旧館および南館図書室は、従来どおり8時45分から開館となります。ご了承ください。

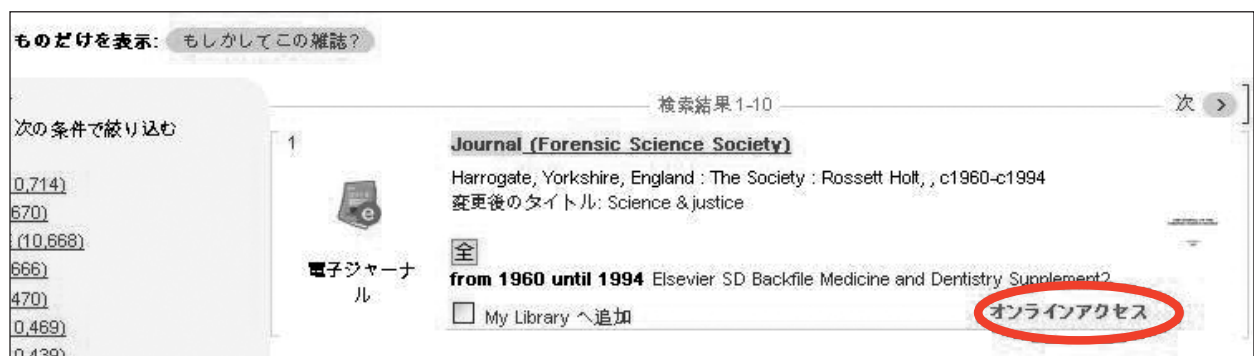
データベースのお知らせ

データベース関連ニュース

●KOSMOSからリモートアクセスが可能になりました

KOSMOSを学外から使っていても、電子ジャーナル、電子ブックへ直接アクセスできるようになりました。KOSMOS My Libraryにログインして検索すると、リモートアクセスで利用できるものが「オンラインアクセス」と表示されます。

アクセスにはkeio.jpアカウント(慶應ID)が必要です。また、が付与されている電子ジャーナル、電子ブックに限られます。



●KEIO-OPAC公開

7月よりKOSMOSの検索補助として「KEIO-OPAC」を公開しました。電子ジャーナル・電子ブックのデータは含まれませんが、以前の検索システムに近い検索と表示が可能です。My Library機能により予約・更新をすることもできます。ただしMy Shelf機能はありません。

➡ KEIO-OPAC <http://keio-opac.lib.keio.ac.jp>

新規導入・変更データベース

●国史大辞典(JapanKnowledge)正式導入(9月1日~)

7月よりトライアルしていた国史大辞典Web版を正式導入しました。JapanKnowledgeより利用できます。

●SourceOECD リニューアル

SourceOECDは名称がOECD iLibraryになりました。画面構成が変わり、検索しやすくなっています。特に統計(OECD.stat)については、画面上で表示項目や表のレイアウトを変更できるようになりました。旧SourceOECD画面も今までどおり利用可能です。

●WDI OnlineがWorld dataBankへ

契約データベースとして提供していたWDI Onlineが、World dataBankと名称を変え、無料データベースとして公開されました。

●IBZ Online 再導入

ドイツ語をはじめとするヨーロッパ言語の雑誌論文索引です。

●図書館を活用しよう! 就活編 ●

今年も就職活動が本格化する時期となりました。就職資料室だけでなく図書館を利用して情報を入手しましょう。

① インターネットでデータベースを活用する ➡ 「データベースナビ」 <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/dbnavi/> へ

eol

上場企業、非上場企業の財務情報を1980年代から遡って検索し閲覧することができます。同業他社と比較もできます。「海外売上高がある企業」や「平均勤続年数」などの検索も可能です。

日経テレコン21

『日本経済新聞』はじめ日経四紙の記事を検索し全文閲覧することができます。日本経済新聞社の調査による企業検索、人事検索(出身校や出身地の指定も可能)が利用できます。

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー

「会社四季報」「外資系企業総覧」「海外進出企業総覧」「日本の企業グループ」「CSR企業総覧」「就職四季報」「就職四季報・女子版」「転職四季報」「役員四季報」を全文閲覧することができます。

DIAMOND D-VISION NET

会社情報、事業所情報、組織図などの検索や、「週刊ダイヤモンド」に掲載された記事を検索し全文閲覧することができます。

② 書架で資料を利用する ➡ KOSMOS <http://kosmos.lib.keio.ac.jp> で検索

新館3階

統計コーナー:「会社四季報」、「ダイヤモンド会社職員録」、「日本の企業グループ」など
和雑誌コーナー:「日経ビジネス」、「週刊ダイヤモンド」、「週刊東洋経済」、「週刊エコノミスト」など
新聞コーナー:2カ月分の全国紙の原版、1970年以降の縮刷版

ST@1JA@335

新館地下1階

・大学生のためのキャリアガイドブック/寿山泰二 [ほか] 著	北大路書房 2009.3	A@377.9@Su1@1
・大学生の就職とキャリア:「普通」の就活・個別の支援/小杉礼子編	勁草書房 2007.10	A@377.9@Ko1@1
・自分と仕事を考えるヒント/小樽商科大学キャリア教育開発チーム, キャリアバンク編		
	日本経済評論社 2008.4-	A@366.29@Ot1@1
・〈就活〉廃止論:会社に頼れない時代の仕事選び/佐藤孝治著	PHP研究所 2010.1	A@377.9@Sa4@1
・職業と仕事一働くって何?/大庭健 [ほか] 編著	専修大学出版局 2008.3	A@366@Ob1@1

などの図書があります。初心に帰って考え直す場合にお勧めです。

南館地下4階

商学部で集めている会社史 BC@20A

学生部(就職・進路担当)で配布している『就職ガイドブック』の「E-3 図書館資料」のページも合わせてご覧ください。
わからないことがありましたら、新館1階レファレンスカウンターで聞いてみましょう。

今月の雑誌の動き

新規

Asian economic policy review (Blackwell Pub.) 4 (2) (2009) -
At プラス: 思想と活動 (太田出版) 1 (2009) -
中国同時代文化研究 (『中国同時代文化研究』編集委員会) 1 (2008) -
大学資料 (文教協会) 187 (2010) -
絵入り本研究 (絵入り本研究会) 1 (2010) -
KBS REPORT (紀要) (慶應義塾大学ビジネス・スクール) 1 (2010) -

廃刊・休刊

Antitrust law & economics review (Antitrust Law & Economics Review, Inc.) -34 (4) (2009)
British economy survey (Oxford University Press) -38 (2) (2008)
C & G = シー & ジイ (廃棄物学会) -12 (2008)

貴重書紹介

『伊太利亜新進の女流作家』 自筆原稿 安野寧夢〔永井荷風〕

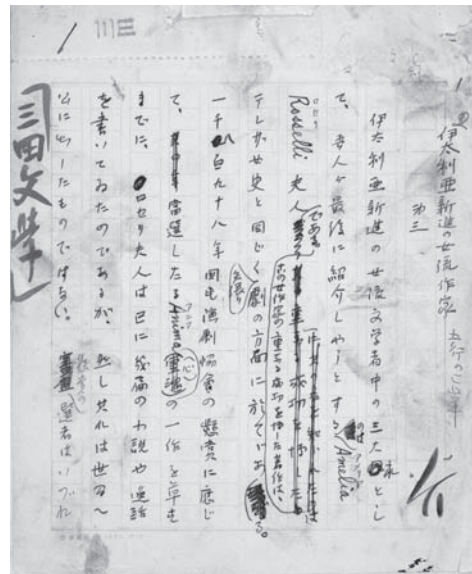
200字詰原稿用紙26枚 ペン書 仮綴 1冊

『伊太利亜新進の女流作家』は、^{あんのねいむ}安野寧夢の筆名で1911年(明治44)の『三田文学』9月号、10月号、12月号の3回にわたって掲載されました。慶應義塾図書館所蔵の自筆原稿はこのうち12月号掲載分です。内容は同時代のイタリアの女性作家を紹介したのですが、原稿末に「安野寧夢抄訳」と記されているように、フランス人M. Muretの『今日のイタリア文学』を翻訳したものです。この作品は『珊瑚集』にも収録されますが、その際、題名を「伊太利亜新興の閨秀文学」と改めています。

永井荷風(1879-1959)は、1910年(明治43)、慶應義塾大学文学部の刷新のため、森鷗外、上田敏ら文学部顧問の推薦を受けて、文学部教授に就任し慶應義塾で初めてフランス文学の講義を開講しました。同年5月には、機関誌『三田文学』を創刊し、自らも精力的に作品を発表しています。『三田文学』は今年創刊100年を迎えました。創刊期から戦前は、森鷗外、芥川龍之介ら既出の作家に発表の場を提供する一方、久保田万太郎、佐藤春夫、石坂洋次郎といった多くの新人を輩出しました。戦後も柴田錬三郎、山本健吉、松本清張、遠藤周作、江藤淳らが数多くの作品を発表しています。

創刊100年記念イベントとして、10月25日から11月7日まで、図書館旧館にて「三田文学創刊100年展」が開催される予定です。

[MBL@G@N13@4] (遠藤久美子)



よくある質問

Q: コピー機はどこにありますか?

A: 新館と南館図書室では各フロアに設置しています。図書館旧館の設置場所は3階と地下2階です。料金は1枚10円です。

図書館のコピー機では、著作権法第31条に基づき、図書館所蔵の資料に限り複写が認められています。このため、ノートやプリント類のコピーはできません。複写の際は著作権の範囲内でご利用ください。

今月の数字
答え

3ページで紹介した企業情報データベースeolの2009年度リモートアクセス・ログイン数です。就活にも便利に使えますが、財務情報のダウンロードはもちろん、有価証券報告書のPDFも収録されており、画面表示を英語、中国語、韓国語に替えたり、円をドルやユーロに換算することも簡単にできるため、様々な利用者が全キャンパスで活用しているようです。

メディアセンターの利用にあたって

- 図書館への入館・サービスの利用には学生証・図書利用券が必要です。必ず、携帯してください。
- 各サービスの利用には一定の条件があります。詳細は各カウンターへお問い合わせください。
- 図書館は多くの方が利用します。それぞれが気持ちよく過ごせるよう、携帯電話での通話、おしゃべりなど、他の利用者に迷惑となる行為はやめましょう。
- 特に飲食は資料へ悪影響となりますので固くお断りいたします。
- パソコン・電卓等は定められた場所で利用してください。
- 図書館内のコピー機は図書館資料を複写するために設置されている為、それ以外のコピーは禁止です。

三田メディアセンターニュースは、ホームページでもご覧になれます。
http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mc_news/

発行所 慶應義塾大学 三田メディアセンター
 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
 TEL 03-5427-1654 FAX 03-5484-7780
 発行日 平成22年10月1日
 印刷 有限会社 梅沢印刷所